

第31回特別展

—江戸時代のガラス・粋と美—

THEびいどろ展

江戸時代の日本製ガラスは、ポルトガル語のVidro（ヴィードロ）に語源を持つ『びいどろ』という語で呼ばれ、薄い器胎の吹きガラスを指す言葉でした。鎖国という社会状況と、特殊製法によって生まれた『びいどろ』は、世界に類のない特有の情緒美を持っている。

本展は、江戸時代のガラスーびいどろの展開に焦点を絞り、当時の人々の生活とガラス素材とのかかわりを探り、その工芸としての美と粋を概観した。

会期／平成2年7月21日（土）～9月2日（日）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室

主催／神戸市立博物館、読売新聞大阪本社、読売テレビ

開館日数／38日

入館者数／26, 224人

出品件数／207件



型吹き藍色亀甲文ガラス深皿